

現代の思春期・青年期を考える

ー思春期・青年期を生き延び心を育むための支援とは何かー

＊当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。＜承認期間：2022 年 7 月 2 日～2027 年 7 月 1 日 承認番号：20210392＞

期 日：2025 年 9 月 13 日（土）・14 日（日）

受講対象：小児科医師、精神科医師、臨床心理士、助産師、保健師、保育士、教師、社会福祉関係者など各機関・現場で子どもに関わる専門家および興味のある方々

定 員：80 名（定員になり次第締切りますので、ホームページなどでご確認ください）

受 講 料：15,000 円（税込み）

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

現代の思春期・青年期の心性とは何が特徴といえようだろうか。Blos P の青年期論をはじめ先人の思春期・青年期心性に関する理論を現代社会の子どもや青年にそのまま適用することの難しさを承知したうえでなお、子どもの心の発達過程に基づかない思春期・青年期の治療・支援はありえないことを忘れてはならない。現実目を見れば、現在の思春期・青年期の子どもや青年は多くの課題や壁に直面しており、その内容は人生の早期から背負わざるをえなかった逆境体験、学齢期になると直面する学校生活での困難さ、そして思春期以降出会いがちなゲームや SNS への依存、あるいは自傷・自殺への誘惑など多岐にわたっている。こうした困難に青年期の子どもや青年がどう巻き込まれ、どんな治療・支援を提供されることでそこから立ち直っていくことができるのかを、各課題のスペシャリストにわかりやすく語っていただきたいと考え、本講座を企画した。

【企画講師：恩賜財団母子愛育会愛育研究所 顧問 齊藤万比古】

【プログラム】

日程	時間	テーマ	講師（敬称略）
9月13日（土）	13:30～15:00	護り育まれるべき思春期・青年期心性とは何か	恩賜財団母子愛育会愛育研究所 顧問 齊藤 万比古
	15:15～16:45	児童虐待を受けた発達障害の思春期・青年期	青溪会駒木野病院 児童精神科部長 岩垂 喜貴
9月14日（日）	10:30～12:00	思春期・青年期のひきこもりとインターネット・ゲーム依存	さっぽろ悠心の郷ときわ病院 理事長 札幌医科大学 臨床教授 館農 勝
	12:00～13:00	昼 食 （各自おとりください）	
	13:00～14:30	性虐待・性犯罪の被害児童における思春期・青年期	京都市児童福祉センター診療所 診療所長 上野 千穂
	14:45～16:15	思春期の諸問題に関する地域連携による支援の可能性と課題	うしじまこころの診療所 院長 牛島 洋景

＊カリキュラム・休憩時間等が変更になる場合があります。